



光が切り拓く、新たなコミュニケーション体験。
光ID技術により、多彩な情報提供を実現。



700 cd/m²

TH-55SF1HJ

オープン価格※
外形寸法: W1229×H699×D72 mm
本体質量: 約24.9 kg 消費電力: 190 W



700 cd/m²

TH-49SF1HJ

オープン価格※
外形寸法: W1093×H623×D72 mm
本体質量: 約19.2 kg 消費電力: 175 W



700 cd/m²

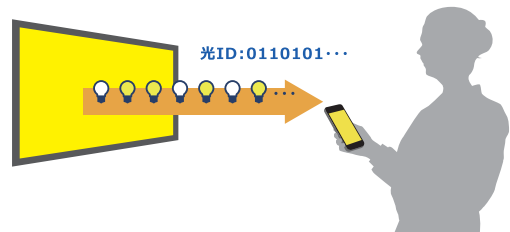
TH-42SF1HJ

オープン価格※
外形寸法: W947×H541×D72 mm
本体質量: 約15.5 kg 消費電力: 155 W

LinkRay™

さまざまな情報の送受信を実現する「光ID」送信機能を内蔵

独自開発の高速バックライト制御技術により、光を高速に変調（明滅）させることでディスプレイから「光ID」の送信を実現。ディスプレイから送信されるID信号をスマートフォン※1で読み取ることで、例えば交通案内や店舗、商品に関する情報、さらにスマートフォンの所有者に応じた言語によるコンテンツを表示するなど、さまざまな情報を提供することができます。



■光ID技術の特長



直感的

看板・サイネージに向けてかざすだけ



高速受信

0.3秒以内に即受信



混雑時でもOK

光が届けば受信可能

●LinkRayについて詳しくは <https://panasonic.biz/cns/LinkRay/> をご覧ください。

アプリのダウンロードはこちら
<https://panasonic.biz/cns/LinkRay/support.html>



※1: OSのバージョンやカメラ性能などの利用条件を満たしたスマートフォンに限り。また、専用アプリケーションのインストールが必要です。●光ID 送信時、ディスプレイパネルの輝度は約75% 相当となります。また、表示映像にちらつきが発生することがありますが、光ID 送信の輝度変化によるものであり故障ではありません。●レーザー方式のバーコードリーダーをお使いの場合、バーコード面に光IDの光があたらないようにしてください。バーコードリーダーの不読や誤読の原因となります。●防犯カメラなどで撮影した場合、撮影画像に縞模様が発生する場合があります。●周囲の明るさ、周囲にある反射光などの影響で光IDの受信性能が劣ることがあります。なお、光ID送信機に直接日光が当たる場合は受信できません。●オープン価格の商品は希望小売価格を定めておりません。●ディスプレイのV型(55V型等)は有効画面の対角法を基準とした大きさの目安です。●機能を説明するための写真、設置写真はイメージです。●画面はハメコ合成です。

簡単に「光ID」対応サイネージを実現する、多様な拡張性。

「光ID」対応のUSBメディアプレーヤーで、簡単サイネージ

●光IDシステムの構築には、別途
光IDライセンス(有料)の契約が必要です。

ディスプレイ本体に、光ID送信に対応した、USBメディアプレーヤー機能を搭載。静止画または動画コンテンツ+「光ID」を保存したUSBメモリーをディスプレイ本体に挿入するだけで、簡単にサイネージシステムを構築できます。

■各コンテンツに連動した情報配信が可能

ディスプレイに表示する各コンテンツに合わせて「光ID」を個別に紐付けることが可能。そのため、1台のディスプレイでより多くの情報配信を行うことができます。

■プレイリストを簡単作成

「複数台監視制御ソフトウェア」(無償ソフトウェア)を使用して、プレイリストを簡単に作成できます。作成したプレイリストは、USBメモリーに保存してディスプレイ本体に挿入(スタンドアローン型)。さらに、LAN接続された特定のネットワーク内にある複数のディスプレイにプレイリストを配信したり、書き換えも容易に行えます(複数台配信型)。



●USBメディアプレーヤーについて詳しくはP.33をご覧ください。
●複数台監視制御ソフトウェアのダウンロードは
<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/download/software/multi/> をご覧ください。

スタンドアローン型

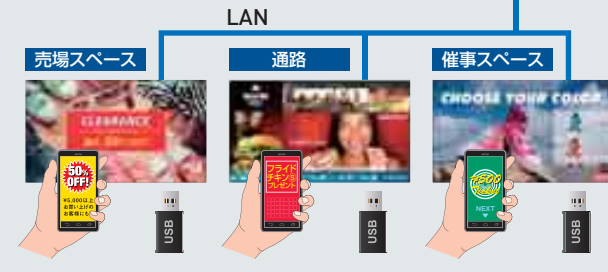
作成したプレイリストをUSBメモリーに保存。ディスプレイ本体に挿入すると、自動的にコンテンツが再生します。



複数台配信型(イントラネット)

パソコン1台で、特定のネットワーク内にある複数のディスプレイへのコンテンツを配信。また、コンテンツの書き換えも可能。スケジュールに合わせた配信にも対応します。

●同期再生には対応していません。



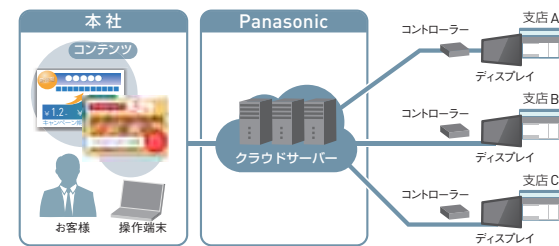
柔軟なシステム構築をサポートする「AcroSign®」

AcroSign®

「AcroSign®」との組み合わせにより、小規模から大規模なネットワーク配信にも対応。コンテンツのスケジュール配信や、コンテンツに連動した光ID発信により、効果的な情報配信/販売促進を実現します。お客様の運用イメージに合わせて、クラウド型またはオンプレミス型の運用をお選びいただけます。

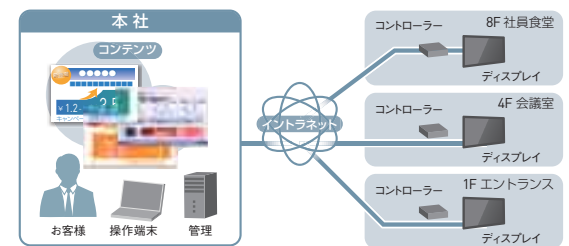
クラウド型

データは弊社クラウドセンターに保管し、専用サーバーは不要。初期導入費用を抑え、システムの拡張にも柔軟に対応できます。



オンプレミス型

既存のネットワーク回線を使用し、ランニングコストを抑え、セキュリティの確保された環境で運用することができます。



●AcroSign®について詳しくは <https://sol.panasonic.biz/digitalsignage> をご覧ください。

■活用で提案



多言語おもてなしによる「インバウンド対応」



価値を高める「情報発信」



集客・販売効果を高める「広告活用」

オプション(別売)

据置きスタンド



TY-ST43PE8

壁面への取り付けにはVESA規格標準の金具をご使用いただけます。
VESA規格では、ディスプレイに壁掛け金具やスタンドを取り付ける際の寸法について国際規格を定めており、SF1Hシリーズもこの規格に準拠しています。

デジタルリンクスイッチャー
ET-YFB200
デジタルインターフェースボックス
ET-YFB100

詳しくは▶P.54

●価格はすべてオープン価格※です。

予兆監視ソフトウェア
ET-SWA100シリーズ

●ライセンスの種類によって
品番末尾の記号が異なります。詳しくは▶P.53

●この紙面に掲載商品の価格には、配送・設置調整費・工事費、使用済み商品の引き取り費等は含まれておりません。